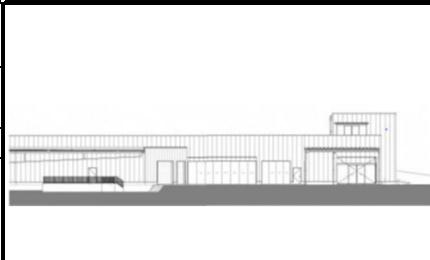




■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)角田様貸店舗 新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県横浜市栄区上郷町180番2他	構造	S造
用途地域	第1種低層住居専用地域	平均居住人員	66 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2022年1月27日
敷地面積	3,854 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社 流通一級建築士事務所 大塚 啓介
建築面積	2,318 m <sup>2</sup>	確認日	2022年1月27日
延床面積	2,249 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社 流通一級建築士事務所 大塚 啓介



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**      **LR のスコア = 3.3**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 3.0	Q3のスコア = 1.7
音環境: 3.0, 温熱環境: 2.8, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.5	機能性: 2.8, 耐用性・信頼性: 3.0, 対応性・更新性: 3.3	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 1.0, 地域性・アメニティ: 2.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.6	LR2のスコア = 3.0	LR3のスコア = 3.4
建物外皮の熱負荷: 1.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 5.0, 効率的運用: 3.0	水資源保護: 3.4, 非再生材料の使用削減: 2.7, 汚染物質回避: 3.7	地球温暖化への配慮: 4.1, 地域環境への配慮: 2.9, 周辺環境への配慮: 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
これはCASBEE横浜(2016年版)による評価結果です。 床・壁・天井・天井裏の70%以上にF☆☆☆☆使用・LGS+GB-Rを使用するなど環境に配慮している		特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	<b>Q2 サービス性能</b> 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特に無し
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =1.05 BEI <sub>m</sub> =0.69	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R) 発泡剤を用いた断熱材を使用していない	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策ガイドラインの項目の過半を満たしている LCCO <sub>2</sub> 排出率=72%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



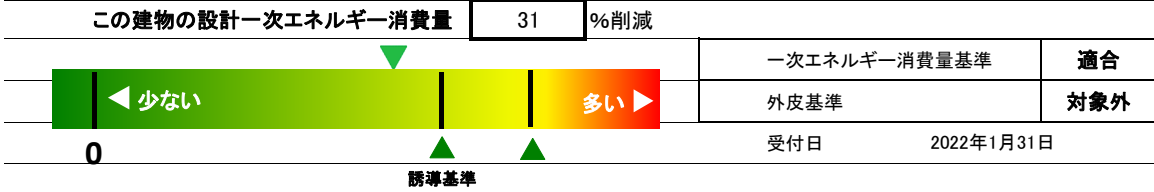
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)角田様貸店舗 新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEIm0.69

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪ 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰床:セラミックタイル30年、壁:ビニルクロス貼20年、天井:石膏ボード25年

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
(仮称)角田様貸店舗 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				<b>Q 建築物の環境品質</b>						
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御										
1 室温 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
2 外皮性能 快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能										
3 ソーン別制御性 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
2.2 湿度制御 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
2.3 空調方式 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用										
1 昼光率 快適・働きやすさ ⑩光環境										
2 方位別開口 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3 昼光利用設備 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3.3 照度 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3.4 照明制御 快適・働きやすさ ⑩光環境										
<b>4 空気環境</b>										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質 快適・働きやすさ ⑪空気環境										
4.2 換気										
1 換気量 快適・働きやすさ ⑪空気環境										
2 自然換気性能 快適・働きやすさ ⑪空気環境										
3 取り入れ外気への配慮 快適・働きやすさ ⑪空気環境										
4.3 運用管理										
1 CO <sub>2</sub> の監視 快適・働きやすさ ⑪空気環境										
2 喫煙の制御 快適・働きやすさ ⑪空気環境										
<b>Q2 サービス性能</b>										
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 高度情報通信設備対応 快適・働きやすさ ⑫機能性										
3 バリアフリー計画 快適・働きやすさ ⑫機能性										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 リフレッシュスペース 快適・働きやすさ ⑫機能性										
3 内装計画 快適・働きやすさ ⑫機能性										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 維持管理用機能の確保 快適・働きやすさ ⑫機能性										
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性 防災 ⑮耐震・免震										
2 免震・制振性能 防災 ⑮耐震・免震										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上										
6 主要設備機器の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備 防災 ⑰信頼性										
2 給排水・衛生設備 防災 ⑰信頼性										
3 電気設備 防災 ⑰信頼性										
4 機械・配管支持方法 防災 ⑰信頼性										
5 通信・情報設備 防災 ⑰信頼性										
<b>3 対応性・更新性</b>										
3.1 空間のゆとり										
1 階高のゆとり										
2 空間の形状・自由さ										
3.2 荷重のゆとり										
3.3 設備の更新性										
1 空調配管の更新性										
2 給排水管の更新性										
3 電気配線の更新性										
4 通信配線の更新性										
5 設備機器の更新性										
6 バックアップスペースの確保										



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
(仮称)角田様貸店舗 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.3
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	3.0
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.4
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				4.1	0.33	-	-	4.1
<b>2 地域環境への配慮</b>				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-